

# ふるどのを見て・聞いて・感じて さらなる交流を促す拠点づくり

県中-11

古殿町田口地区

古殿町

県中建設事務所  
計画期間: H19~H21

## 地域づくりの方針

生産者と地域住民、活動団体が、「おふくろの駅」を地域交流拠点とした地域の将来構想やPR手法を「ともに考え」、地域の活性化・定住人口の拡大につながる協働の地域づくりを目指す。

## 主な事業内容

古殿町の交流拠点道の駅「ふるどの」（仮称）への進入を容易にするため

**右折レーン**

の整備をしました。



## 事業概要図



## 地域の現状

近年は、経済情勢の変化により主要な産業である農林業が衰退し、それに伴う急速な過疎・高齢化が進み、町の活力が失われつつあります。町では「鎌倉岳遊歩道」や「大風川渓谷・越代のさくら地区整備」「芝山緑地休養施設整備」等、地域資源を活用した観光振興に取り組んでいますが期間・場所ともに分散しており、年間を通しての交流人口の確保が大きな課題となっています。

古殿町では、平成13年に「地場製品の振興」「情報発信」「地域連携」の機能を有する地域活性化施設「おふくろの駅」を開設し、右折レーンを整備しましたが、原発事故に伴う風評被害対策や観光振興を図るための更なる情報発信の充実、魅力の向上が課題となっています。

## 地域づくりのあゆみ

平成16年

- ・越代の桜保存会や大久田区、じねんじょ倶楽部が中心となり懇談会を開催、今後の地域のあり方などを議論、整備方針をまとめる。
- ・三株下市菅小川泉の越代の桜周辺屈曲部の改良工事が始まる。
- ・桜祭りの入り込み客数が、急激に増加しはじめてきた。

平成17年

- ・昨年度、地域でまとめた整備方針に基づき、越代の桜前の遊歩道整備を開始。（測量設計）

平成18年

- ・昨年度、地域でまとめた整備方針に基づき、越代の桜前の遊歩道整備。（用地買収、工事完了）

平成19年

- ・「古殿おふくろの駅」の道の駅化構想が本格化する。

平成20年

- ・H21の「古殿おふくろの駅」の道の駅化にあわせ、地域づくり勉強会を開催、「古殿おふくろの駅」を核とした地域づくり構想が検討されるとともに、「古殿おふくろの駅」の入り込み車の増大に対応するため、国道349号右折レーン設置事業を行い、道の駅化に向けた対応を順次進めている。

平成21年

- ・道の駅登録。

## 元気づくりの立役者たち

流鏝馬



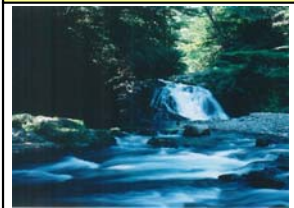
鎌倉岳



越代の桜



大風川渓谷



## 地域の課題・今後の展望

「おふくろの駅」を拠点として、近隣の地域資源（ふるどの桜街道、鮫川親水公園、鎌倉岳）や町内の地域資源（古殿八幡神社の流鏝馬、越代の桜、大風川渓谷、三株高原、芝山等）の情報発信やネットワーク化するソフト展開を検討し、交流人口の拡大と地域活性化を図ります。

## 関係機関

- 福島県 石川土木事務所 業務課
- 古殿町 地域整備課

TEL : 0247-26-2139

TEL : 0247-53-4612